

会派の
代表4人が

総括質疑

※緑字の項目については各ページで記載

1. 秦 浩【福津誠和会】・・・P7

- ①コロナ対策について
- ②経済・産業が元気なまちについて
- ③災害に強いまちについて
質疑:災害に強いまちであるための避難所運営は。
- ④孤立させない共生のまちについて
- ⑤安心して子育てができるまちについて
- ⑥都市計画マスタープランに定めた市内3拠点の整備について
- ⑦教育環境整備について
質疑:教育環境の整備については、小学校2校、中学校1校の新設が最善策と思うが、市の見解は。また、いつまでに予算案の上程をするのか。
- ⑧課題に立ち向かう力強い行政組織の構築について
- ⑨地域コミュニティの検証について
- ⑩豊かな自然の保全と文化・歴史の継承について
- ⑪所信表明総括として

2. 米山 信【新政会】・・・P7

- ①所信表明全体を通しての考え方について
- ②「経済・産業が元気なまち」について
- ③教育環境整備について
質疑:校区再編によるコミュニティ・スクールへの影響は。また、新設校財産取得の申出は。
- ④課題に立ち向かう力強い行政組織の構築について
- ⑤地域コミュニティの検証について
質疑:地域コミュニティに関する審議会を設置し、条例等整備の考えは。



福津市古墳キャラクター
ぶんちゃん

総括質疑の詳細は、福津市議会ホームページをご覧ください。
質問者ごとに総括質疑を録画配信しています。
公開は、各定例会後の4年間です。
(検索方法は15ページに掲載)

3. 下山 昭博【ふくつ未来】・・・P8

- ①「はじめに」について
- ②コロナ対策について
- ③経済・産業が元気なまちについて
- ④災害に強いまちについて
- ⑤孤立させない共生のまちについて
- ⑥安心して子育てができるまちについて
- ⑦都市計画マスタープランに定めた市内3拠点の整備について
- ⑧教育環境整備について
質疑:教育環境整備に向けた改善策は。
- ⑨過大規模校化による影響と弊害の効果的な緩和に向けてについて
質疑:過大規模校化による影響と弊害の効果的緩和に向けた新設校計画は。
- ⑩課題に立ち向かう力強い行政組織の構築について
- ⑪地域コミュニティの検証について
- ⑫豊かな自然の保全と文化・歴史の継承について

4. 横山 良雄【玄風会】・・・P8

- ①所信表明による1期目の反省と2期目の将来展望の総論について
質疑:発展し続ける自治体として、将来をどのように捉え、政策提言するのか。
- ②コロナ対策について
- ③経済・産業について
- ④災害に強いまちについて
- ⑤孤立させない共生のまちについて
- ⑥安心して子育てができるまちについて
- ⑦都市計画マスタープランに定めた市内3拠点の整備について
- ⑧教育環境整備について
- ⑨市政運営の財政理念について
質疑:市政運営の財政理念は。

☆総括質疑とは、市長の所信表明や新年度の予算編成方針に対して、会派の代表が総括して質疑をすることです。



福津誠和会
秦 浩

質疑 教育環境の整備については、小学校2校、中学校1校の新設が最善策と思うが、市の見解は。また、いつまでに予算案の上程をするのか。

答弁 市の人口推計を基にした児童・生徒数の推計から、学校規模の適正化のためには小学校2校、中学校1校の新設が最善と考えている。しかし、財政的視点から1校の建設が限界と考えている。新教育長就任後も継続して複数案を協議している。教育委員会が当初予定していた開校年度が遅れていることから、過大規模校の状況はより一層厳しくなっており、一刻も早く市の方針を定めるため今後も継続して協議を進める必要がある。新設校に係る予算案は、来年3月定例会までの上程を考えている。

質疑 災害に強いまちであるための避難所運営は。

答弁 避難所運営については、これまで市役所職員が主体となっていた。今期からは試験的に宮司コミュニティセンターで、地域との共働による避難所運営を行うこととしており、地域防災力の強化につながると考えている。

また、福祉避難所としても機能する中央公民館に加え、郷づくり地域ごとに1カ所ずつ避難所の開設を予定している。大規模災害時には、小・中学校の体育館だけではなく、状況に応じて空き教室の利用も考えていく。



指定避難所の宮司コミセン



新政会
米山 信

質疑 校区再編によるコミュニティ・スクールへの影響は。また、新設校財産取得の申出は。

答弁 コミュニティ・スクールにおける地域と郷づくりの地域が、ほぼ同じであることが本市の強みとなっている。小学校区が変更になった場合には、郷づくり区域と小学校区に違いが生じることから、これまで培われてきたコミュニティ・スクールに少なからず影響を与えると考える。

竹尾緑地の新設校財産取得の申出について、教育委員会は現段階では白紙とは考えていない。現在、他の候補地を含めて検討している。その中で、竹尾緑地における申出を今後どういう形にしていくなか判断することになると思う。教育委員会の合意を進めていく。

質疑 地域コミュニティに関する審議会を設置し、条例等整備の考えは。

答弁 現在、担当を中心に他市事例等を参考にしながら、市民参加型・市民参加型の検討委員会などを設置するか、もしくは審議会形式とするか等を検討している。

引き続き有識者等の意見を伺うことも検討し、できるだけ早く結論を導き出したいと考えている。郷づくり交付金の交付要綱の規則化は、大変重要な事項である。まちづくり基本条例の改正検討と並行して検討していきたい。



過大規模校の早期解消を！



ふくつ未来
下山 昭博

質疑 過大規模校化による影響と弊害の
効果的緩和に向けた新設校計画は。

答弁 新設校を建設する場合、民有地
だと用地取得に一定期間を要する。
建設場所によって調査や法的な手
続きも異なるので、完成までに必
要な時間は変わってくる。民有地
に決まった場合、着手から開校ま
で少なくとも5年を要するものと
考える。

福岡中学校では、部活動や生徒
会活動に制約があることは十分認
識している。また、進路決定にも
大きく関わっていることやコミュ
ニティ・スクールにおける学校行
事（トークフォーダダンス、まわし
よみ新聞等）を充実させるためにも
早期の中学校建設を目指したいと
思っている。教育委員会としては、
財源が許されるなら小・中学校の
建設が望ましいと考えている。

質疑 教育環境整備に向けた改善策は。

答弁 通学区域の特例拡大の検討、プ
ールの外部委託や運動場スペースを
確保するための検討をしている。

一人一台のタブレット端末配備
により、災害や感染症等による緊
急時にはタブレットを家庭に持ち
帰らせ、オンライン学習や心のケ
アを実践することで学びの保障を
目指していく。その場合、家庭に
おけるインターネット環境が課題
であることから、アンケート調査
を実施している。

ICT支援員を民間事業者に業
務委託し、10校に1人配置を3人
に増員した。



一人一台のキーボード付きタブレット端末

質疑 発展し続ける自治体として、将来
をどのように捉え、政策提言する
のか。



玄風会
横山 良雄

答弁 一期目は、自主財源の確保を行
うことを通じて、経営感覚を持つ
た組織への転換を図ってきた。し
かし、早急に行なったこともあり、
考えが市役所全体に浸透したとは
言い難い面もあった。二期目は、

この考えも含めて丁寧に説明をし
ながら、更なる行財政の改革によ
り、組織や仕組みを変え、職員の
意識改革を図る所存である。地方
創生を加速し、SDGs 未来都市に
ふさわしいまちを実現するために、
多様な価値観や立場を認め合い、
市民一人一人が健康で幸せに暮ら
し続けられること。そして時代の
変化を乗り越えられる持続可能な
まちづくりを引き続き進め、時に
修正や見直しもしながら、将来へ
つなげたい。

質疑 市政運営の財政理念は。

答弁 市の財政状況は、歳入では、人
口増による交付税の増加はある
が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響
による市税等の一般財源の減少が
見込まれる。歳出では、扶助費や
老朽化した公共施設の改修・更新
費用、児童・生徒の増加による関
係費用の増加が見込まれ、厳しい
状況にある。引き続き、ビルドア
ンドスクラップを進める必要があ
る。これにより、多様化する課題
への的確な対応など、必要な施
策・事業の着実な推進と、財政健
全化による持続可能な行財政基盤
の構築の両立を図りたい。

